

ストーブによる火災に注意しましょう！！！！

寒い季節を迎えるにあたり、ストーブ等の暖房器具を準備されているご家庭も多いかと思います。暖をとるのにとっても便利なストーブ等ですが、使い方を誤ると大変危険な器具となります。そこで、次の5点について注意して、使用してください！！

1 ストーブの上に洗濯物を干さない！近くに燃えやすいものを置かない！



- ※ 乾燥して軽くなった洗濯物などが対流熱による上昇気流で外れ、石油ストーブの上に落ちて出火する恐れがあります。
- ※ ストーブの周りに新聞や衣類等が置いてあったり、カーテンがそばにある場合は、ちょっとしたはずみで、ストーブに接触し、出火する恐れがあります。

2 ストーブの近くにスプレー缶を置かない！ストーブの近くではスプレーを使わない！



- ※ スプレー缶を使用中のストーブや石油ファンヒーター等の暖房器具の近くに置くと、スプレー缶内のガスが膨張し、爆発する恐れがあります。
- ※ ストーブの近くでスプレー缶を使用すると、スプレー缶の可燃性ガスがストーブの炎に燃え移り火災になる恐れがあります。

3 給油する時は必ず消火する！カートリッジタンクのふたが確実に閉まっているか確認する！



- ※ カートリッジタンクのふたが確実に閉まっていなかったため、灯油がタンクからこぼれ、ストーブを消火していない場合には、灯油に引火し、燃え広がる危険性があります。

4 灯油と間違えて、ガソリンや混合油を給油しない！



※ ガソリンを給油してしまった場合、ガソリンが外部にしみだして引火し、ストーブ全体が炎に包まれてしまいます。しかも、ストーブが使われるのは多くが室内のため、炎はまたたく間に周囲に燃え広がる危険性があります。

注) 混合油：草刈機や農業用器具に多く使用されている、ガソリンと潤滑用オイルを混合したものの。

5 就寝時やその場を離れる時はスイッチを切りコンセントからプラグを抜く！



※ 寝返りなどで布団がストーブに触れて出火したり、何かの拍子に誤ってスイッチが入ってしまい、近くの物に燃え移ってしまう危険性があるので、就寝時やその場を離れる時は、スイッチを切り、コンセントからプラグを抜くようにしましょう。



消防本部警防課